



公益財団法人  
**みらいファンド沖縄**  
活動報告書 2010-2018

# 「みらいファンド沖縄」これまでの主な取り組み

## 2010年度主な活動

- 4/23に「一般財団法人」として設立登記(市民約100名から拠出金をいただく)。
- 沖縄NPOデータベース(公益ポータルサイト)の開発と公開開始(12/3)。
- 初の基金事業「じぶん基金(個人創案型基金)」を提供開始し、2つの基金を創設。
- 地域円卓会議初開催。

地域円卓会議開催支援

1回

## 2012年度主な活動

- 「寄付と助成のプログラム」7事業採択。
- 世界若者ウチナーンチュ大会支援基金を6月に設置。
- 沖縄まちと子ども基金を12月に設置。
- カンパイチャリティを那覇新都心にて2回開催のべ39店舗が参加。

地域円卓会議開催支援

8回

寄付受入実績

5,170,037円

助成金交付実施額

3,709,315円

## 2014年度主な活動

- 全国コミュニティ財団協会へ参加。
- 市民セクター会議2014において地域円卓会議・事例発表。
- 沖縄まちと子ども基金第1期助成報告会&地域円卓会議を開催。

地域円卓会議開催支援

8回

寄付受入実績

2,760,362円

助成金交付実施額

2,549,919円

## 2016年度主な活動

- コレクティブインパクト事業の実施(全国コミュニティ財団協会委託事業)
- 認知症みまもり自販機、子どもの貧困にをテーマに
- じぶん基金として新崎盛暉平和活動奨励基金を設置
- 円卓会議が、第11回マニフェスト大賞優秀賞受賞

地域円卓会議開催支援

11回

寄付受入実績

29,679,412円

助成金交付実施額

1,325,250円

## 2011年度主な活動

- 4/1 公益認定を受け、公益財団法人に--  
12/19には、PSTをクリアし、税額控除認定を受ける。
- 「寄付と助成のプログラム」開始。
- 沖縄県「新しい公共支援事業」を受託。
- 41市町村の住民税寄付金控除の条例調査を実施。
- 県域の市民活動支援のための基金設置の提言書を作成。

地域円卓会議開催支援

1回

寄付受入実績

3,824,684円

助成金交付実施額

2,427,218円

## 2013年度主な活動

- 寄付付き商品が3つ誕生。
- 「寄付と助成のプログラム」3事業採択。
- 国交省より事業を受託→地域づくり活動に対する中間支援活動のコンテンツ整備のための優秀な取組事例調査、国頭村で3回連続の地域円卓会議を開催。

地域円卓会議開催支援

10回

寄付受入実績

4,920,777円

助成金交付実施額

2,383,834円

## 2015年度主な活動

- 琉球大学・名桜大学と連携し、若者の定住と働き方を考える円卓会議開催
- 円卓会議に関する県外での事例発表・講演活動を開始(本年度は4回)。
- じぶん基金をリニューアルした、ドナーアドバイズドファンデを開始。

地域円卓会議開催支援

11回

寄付受入実績

12,718,093円

助成金交付実施額

1,745,517円

## 2017年度主な活動

- NPO・土業向け遺贈寄付研修を県内初開催
- 円卓会議開催数が過去最高
- JFCとのシンポジウムを実施
- コレクティブインパクト(CI)事業の受託

地域円卓会議開催支援

17回

寄付受入実績

19,839,830円

助成金交付実施額

3,287,547円

839件

のべ寄付者数(件数)

48

設置した基金の数

114,832,524円

1億円突破!!

寄付受け入れ総額

(2018年10月31日現在)

# みらいファンド沖縄は地域の「困りごと」を解決するために基⾦を作り企業や個人からの寄付を届けています

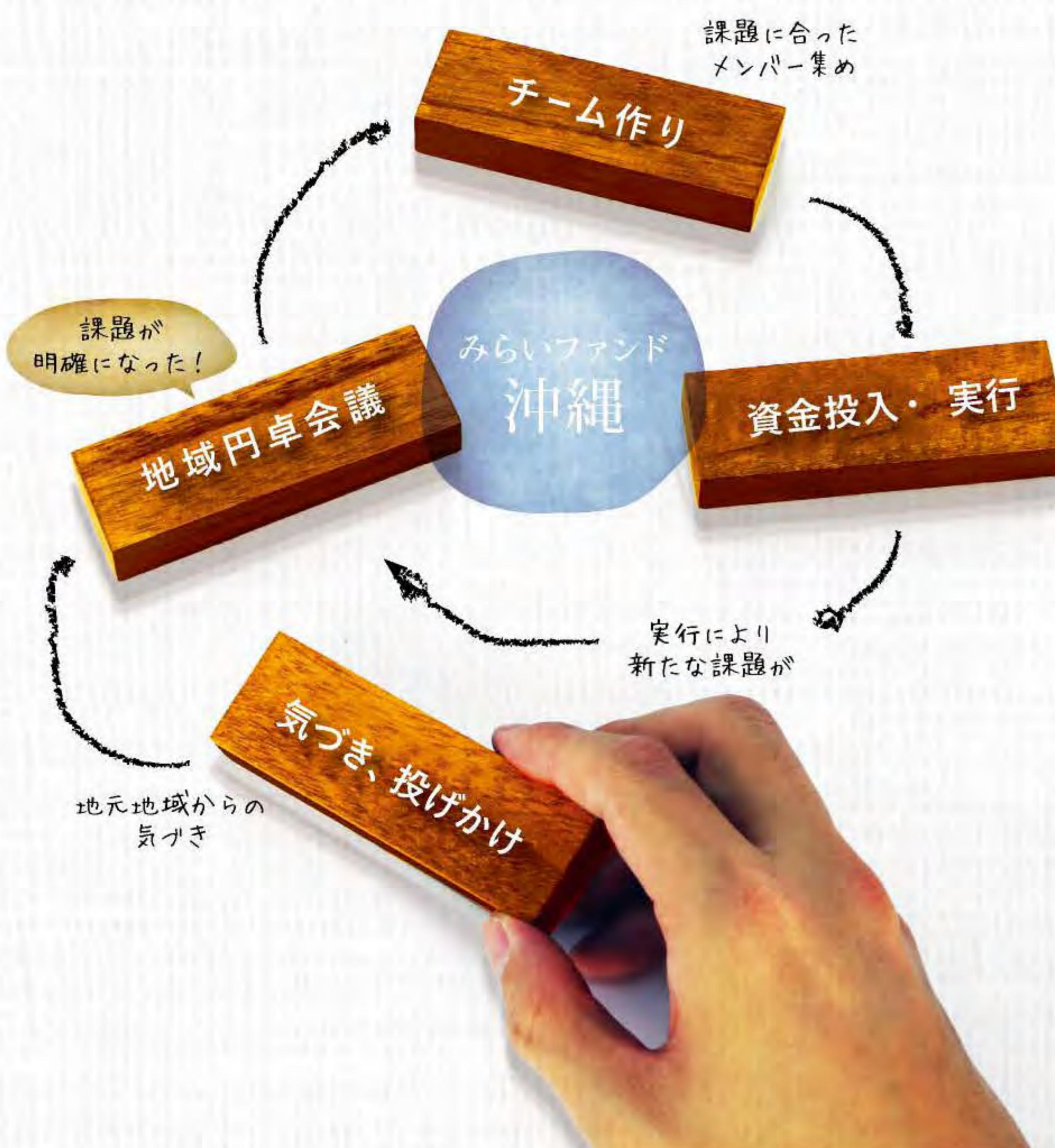
市民が市民の活動を支える社会づくり、沖縄の未来をともに創る  
みらいファンド沖縄は、2010年に93名の市民から寄付をいただいて設立した市民立のコミュニティ財団です。沖縄の未来を少しでも良くしたい、そんな人たちの思いが集まり誕生した財団です。

NPO乳がん患者のぴんく・ぱんさあの活動は、特定の病院に属さない、病院を超えたネットワークのある患者会の活動です。その活動の場所を寄付で支えています。NPO法人子ども医療支援わらびの会は、親が安心して病児の看病ができるよう、きょうだいにも安心して過ごせるためのきょうだいの預かり保育事業を寄付で運営しています。  
市民の活動とその活動を支えたい人たち。そういった寄付を活かした事業が沖縄でも生まれてきています。

私たちは、大きな金額を助成できる財団ではありませんが、みなさまからいただいた寄付をより地域に活かしていくために、日々考え方を取り組んでいます。地域の困りごと

社会課題にしていく「沖縄式地域円卓会議」。寄付者自身が気づいた社会課題に基金をつくる「じぶん基金」など、それぞれの立場から沖縄の社会づくりに参画できる仕組みを提供しています。

市民による小さい取り組みチャレンジの集まりが沖縄の未来を形づくっています。私たちは地域の寄付で成り立ち、地域のために活動する財団です。



## 役員



代表理事

小阪 亘

特定非営利活動法人  
まちなか研究所わくわく 理事長



副代表理事

平良 斗星

株式会社エフエム那覇 取締役会長



専務理事

宮里 大八

琉球大学  
地域連携推進機構 特命准教授



理事

照喜名 通

沖縄県難病相談支援センター  
認定NPO法人アンビシャス 副理事長



理事

知念 忠彦

医療法人天仁会  
天久ヒルトップ 施設長



監事

名城 佳枝

大学非常勤講師、ファイナンシャルプランナー、  
沖縄県金融広報アドバイザー



監事

山崎 新

一般社団法人  
沖縄じんぶん考房 代表理事

## 評議員

稻垣 純一

真喜屋 光子

饒波 正博

本村 真

糸数 未希

續 洋子



地域の「困り事」を社会課題として共有する

# 沖縄式地域円卓会議

## 困り事から始める議論

1



沖縄式地域円卓会議は、地域で起こっている「困り事」に立ち向かっている方が、自ら第一声をあげることから始まります。多くのシンポジウムのように、成功事例の紹介から始めるのではなく、まずは統計等を元に事実に向き合い、参加者で共有すること大切にしています。具体的なテーマ決め、テーマの大きさを「食べられるサイズ」にすることが重要です。

## マルチステークホルダー・プロセス



沖縄式地域円卓会議は、地域の「困り事」を、単独あるいは2者間で協議するのではなく3者以上のステークホルダー（利害関係者）で、意見交換をしていきます。この場所で、様々な事実・視点・評価・事例が提供されるため、地域の「困り事」は研ぎ澄まされ、「社会課題」へと昇華していきます。ここでの着席者は、テーマに基づき決定します。同時にテーマに関心のある方は誰でも参加できるオープンな会議です。

みんなを巻き込め！

## 円卓会議開催までの流れ

準備1 具体的な「困り事」をテーマに設定

準備2 着席者決め  
広報案内文作成

開催  
会場設営～受付  
進行と記録  
アンケート回収

事後  
記録を元にした  
提言書作成  
総括のミーティング



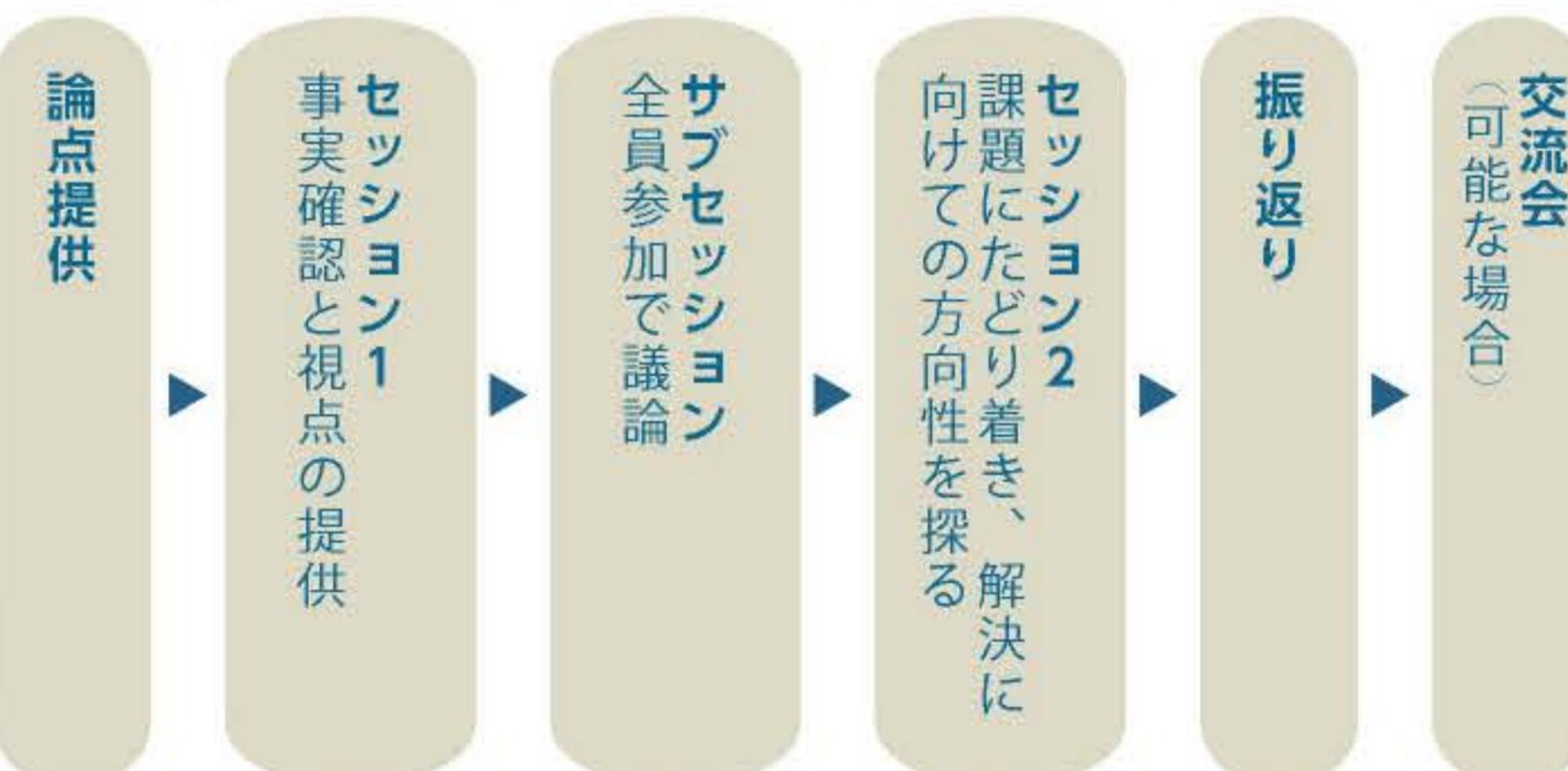
明日から自分が  
どうすればよいかを  
考えるようになる会議

Tosei Taira  
平良 斗星  
副代表理事

ひょんなことからこの円卓会議の進行を  
することとなり、7年で70回あまり開催す  
ることに…毎回発見と反省があり、日々ブ  
ラッシュアップしてきたこの会議はまさに  
沖縄県産品です(笑)ここに参加し事実に  
向き合い対話を重ねると、どんなテ  
マでも、明日から自分がどうすれば  
よいかを考えるようになる会議  
だと思います。

### 会議の進め方

3



沖縄式地域円卓会議は、テーマと参加者を決めるプロセスを経た後、当日は司会者と記録者により会議は進みます。司会者は、対話を持って地域の社会課題を解きほぐし、参加者の意識を「他人事から自分事（じぶんごと）」に変えていきます。記録者は、会議で発露された情報を構造化し、その記録は、今後の課題 解決に向けてのアプローチの基礎となります。

### 会議を通した成果目標

4



沖縄式地域円卓会議は、以下のように様々な目的を達成します。

- 1.行政事業の周知と住民参加意識の啓発
- 2.政策課題を明確にする政策マーケティングのツール
- 3.NPO等公益団体の地域課題の共有と仲間作り
- 4.団体や事業者内の課題を外部に開き、社会と繋げる場

### マニュフェスト大賞優秀賞を受賞しました。

沖縄式地域円卓会議はこの度、2016年のマニュフェスト大賞優秀賞（コミュニケーション戦略部門）を受賞しました。2500件を超えるエントリーの中からの受賞は、これまで40回以上の開催への評価だと思います。会議を活用いただいた方々にあらためて御礼申し上げます。



Manifesto  
Awards

# みらいファンド沖縄はたくさんの方々とつながり「おきなわのための活動」を行っています たくさんの方々と一緒に、沖縄の未来を創っています



NPO法人  
こども医療支援わらびの会  
理事・事務局長  
**儀間 小夜子さん**

## みらいファンド沖縄への期待

NPO設立の目的を達成するためには、行政に頼るだけではなく、一般市民や県民のより多くの方に当会活動を周知啓発することにより、支援の輪を拡げ活動を継続していくかないとけないと思っています。みらいファンド沖縄には、今後も市民とNPOの橋渡し役を担っていただきたいです。

## 病児の親もきょうだいも安心して過ごすために

「がじゅまるの家」は、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターのすぐ近くにある、治療や入院する子どもとその家族が滞在（宿泊）できる施設です。施設には、病児のきょうだい児を親戚等に預けることができず、きょうだいも一緒に利用する家族もいます。その場合、親は、きょうだいのことが気がかりながらも病児の看病をせざるを得ません。わらびの会では、親に安心して看病にあたつてほしい、きょうだいにも安心して過ごしてほしいとの思いからきょうだいの預かり保育事業を始めました。利用者からは「保育士さんに預かってもらえるので安心して病院にいけました」「がじゅまるの家があるおかげで家族が集まっている。それが何よりの幸せです」との声をいただきました。この事業に寄付を寄せて下さったみなさま、誠にありがとうございました。日々病児の看病で疲れ切った家族に安らぎを与えられたことに感謝いたします。



一般社団法人  
琉球フィルハーモニック  
**上原 正弘さん**

沖縄では家庭環境などが原因で学校にいけない子ども、放課後"居場所がない"子どもが、他府県より高い割合でいます。

音楽を専門に活動している私たちが社会的な役割として考えたのは、子どもたちの体験の選択肢のひとつに音楽的体験を加えられないかということです。

そして、音楽による子どもの居場所づくりを考えた時、地域の行事などへ参加しやすく、子どもたちでも比較的音を出しやすい楽器で構成され、またその種類も編成人数も多くを必要としないジャズを、私たちは選びました。

沖縄は第二次大戦の後、アメリカの統治下となり、基地内外で様々な娯楽行事が催され、その一つがジャズコンサートでした。遠い昔から沖縄芝居などを青空劇場で楽しんできた土壤で、ジャズはいつしか身近な文化として受け入れられ、愛されてきました。

沖縄民謡は“アフタ・ビート”と“合いの手”が特徴。沖縄とジャズは相性がいいものです。

## 今の時代だからこそ 子どもたちの新しい居場所をつくりたい

琉球フィルでは2012年よりプロオーケストラ「琉球フィルハーモニックオーケストラ」や、2013年より「那覇ジュニアオーケストラ」を運営し、プロの音楽家による子どもたちの育成事業で培ったノウハウを蓄積しています。また2016年から開催している東日本大震災の被災3県（岩手県大槌町・宮城県仙台市・福島県相馬市）のジュニアオーケストラとの合同コンサート「響け！復興へのハモニー」をきっかけにエル・システムジャパンとのつながりをもち、その手法も参考にしています。

「ジュニアジャズオーケストラおきなわ」は、音楽に興味をもつ子どもが、生まれ育った環境によって左右されることなく、どんな子どもでも音楽に触れ、学校や学年の垣根を越えて多様な人や才能と出会う機会を創出する新たな試みです。

社会（地域）の一番の宝である子どもたちが、様々な音楽による体験・交流の機会をとおして、「自己肯定感」を高め、「心の豊かさ」や「生きる力」を育み、夢や希望を持って成長していく、音楽が溢れる新しい居場所づくりがはじまっています。

若狭公民館区、那覇中学校区でスタートしたこの取り組みを、沖縄各地へと、広げていきたいと思っていますので、どうぞ皆様のお力添えを願いいたします。





宮良クリニック  
宮良 球一郎 さん

#### みらいファンド沖縄への期待

私自身はみらいファンド沖縄の仕組みについて知らなかった。団体から教えてもらった。税理士に相談したら、お互いにメリットになるし社会貢献にもなるので良いのではと言われ始めた。この様な仕組みを表舞台に出していくれば、社会貢献する人が増えて来ると思う。まだまだ、知らない人が多いので色々な機会を通じてアピールして欲しい。

NPO乳がん患者の会びんく・ぱんさあの活動は、特定の病院に属さない患者会のため医師に影響されずに、病院を越えたネットワークと自由な発想の活動に魅力がある。宮古島での患者会との連携、寄付自動販売機の設置、最近では乳がん患者の若手が集まって結成したピ-チ会など、自由な発想で活動を広げている。患者同士が繋がることで、医療の力では解決できない所を担っていると思う。その様な活動が展開する限りは、応援を続けたいと思っている。

#### 宮良先生の考える寄付とは

夢のある人をサポートしたい。代表の与儀さんが患者会を作る時に、乳がん治療するには重要なポジションになると思ったので、団体に寄付することにした。お金について悩む時間を減らし、患者同士が話し合いながら、患者のために考える時間に多く使うことができる。そういった環境をつくりだすお手伝いができることに、価値があるので、金はだしても、口は出さないという関わりで応援している。その活動が最終的には、乳がん患者の負担を軽くしていると考えている。

### 寄付者一覧

#### 設立時拠出金に寄付くださったみなさま ※五十音順・敬称略

秋葉武 / 新井裕子 / 新垣八重子 / (有)新垣ちんすこう菓子店 / 有井安仁 / 東濱克紀 /  
認定NPO法人アンビシャス / 石原達也 / 今津新之助 / 岩田直子 / (株)エフエム那覇 /  
(株)エフエム21 / 遠藤聰志 / 大城逸子 / 大城喜江子 / 大城幸代 / 大城成信 / 大城武久 / 大見謝恒章 /  
NPO沖縄シニアの会 / 川北秀人 / 菊之露酒造(株) / 金城嘉志 / 金城和光 / (株)クレイ沖縄 /  
古我地 浩 / 小阪亘 / 小橋川繁 / 小松かおり / 吳屋貴司 / 佐久間愛弓 / 下地美香 /  
(特活)首里まちづくり研究会 / 佐脇広平 / 新開育恵 / 新星出版(株) / 杉浦幹男 / 関口宏聰 /  
税理士法人添石綜合会計事務所 添石幸伸 / (特活)ソーシャル・デザイン・ファンド / 平良斗星 /  
平良恵津子 / 地域情報エージェント(株) / 知花茂 / 知念金徳 / (特活)ちゅらしまフォトミュージアム /  
當間愛晃 / 戸田幸典 / 渡真利雅男 / 仲村一真 / 中村聰 / (特活)日中文化交流センター / 比嘉司 / 平井雅 / 福岡智子 /  
前田比呂也 / 真喜屋光子 / (特活)まちなか研究所わくわく / 松本哲治 / 宮里大八 / 宮道喜一 / 宮島さおり / 米野史健 /  
山城岩夫 / 山城司 / 与儀隆一 / 與古田清順 / (特活)ライフサポートてだこ / (有)ルーツ / 若尾貴広 / 若尾美希子 / 渡邊真寿美 /

匿名にて寄付くださった方々

#### 2017年度に寄付くださったみなさま ※五十音順・敬称略

新崎盛暉 / 東濱克紀 / 医療法人月桃会 宮良クリニック / 佐々木好子 /  
株式会社サンシャイン サンシャインゆいま～る事務局 / 小規模多機能ホーム安岡 / 真如苑 /  
スタートライン(株) / 高瀬正徳 / 玉寄陽子 / 田盛英保 / 高嶺朝一 / 船橋治 / 三宅俊司 / 湯山義則 /

匿名にて寄付くださった方々

### みらいファンド沖縄への寄付口座

銀行名 普通口座  
沖縄銀行 首里支店 1408641

名義  
公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事 小阪亘  
(コウエキザイダンホウジン ミライファンドオキナワ ダイヒョウリジ コサカワタル)

郵便振替  
01780-6-149204

名義  
公益財団法人みらいファンド沖縄  
(コウエキザイダンホウジン ミライファンドオキナワ)  
【通信欄への必要事項】みらいファンド沖縄を支援する

# 「現在寄付募集中の基金」

## テーマ型基金

沖縄特有の、あるいは優先的に取組みが必要と思われる社会課題(テーマ)毎に設置する基金です。寄せられた寄付から、その課題の解決にあたろうとするNPOに対し助成を行っていきます。

貧困のない沖縄をつくるための研究助成

### 沖縄まちと子ども基金

助成先: 毎年1回の募集と選考により決定します。 <https://miraifund.org/kikin/machiko/>

#### ■リスクに晒されている子どもたち

日本全体が人口減少社会へと突入している中、沖縄では比較的高い出生率を維持しています。しかし、多くの統計的数値が、子どもが貧困や孤立のリスクに晒されていることを予測させます。離婚件数、生活保護受給率、米軍基地面積、就学援助制度認定者数、若年出産率などで、深刻な結果が示されています。

沖縄の子どもたちを守ることは、沖縄の未来を守ることです。だれもが活き活きと働き、心休まる家庭で暮らせる社会になれば、生産性が向上し、税による社会保障負担も減ります。

この「沖縄まちと子ども基金」は、子どもたちを地域(まち)が支えていける環境づくりをめざし、課題の解決をめざす事業・調査を行うNPOに対し助成するため、設置いたします。



沖縄まちと子ども基金

助成先: 每年1回の募集と選考により決定します。

専用口座

沖縄銀行 鳥掘支店 普通1396468  
琉球銀行 首里支店 普通592434

郵便振替

01780-6-149204  
【通信欄への必要事項】沖縄まちと子ども基金

世界中のウチナーンチュをつなぐ若者たちの活動を支援

### 世界若者ウチナーンチュ大会支援基金

助成先: 世界若者ウチナーンチュ連合会沖縄本部 <https://miraifund.org/kikin/wyua/>

#### ■新しい世代が「世界」と「祖先」をつなぐ

沖縄では、世界中へ移民として旅立っていったウチナーンチュたちが、自身のルーツである沖縄を体験する機会として、「世界のウチナーンチュ大会」を5年毎に開催しており、毎回、数千人が沖縄への「帰郷」を果たします。しかし、海外への移民がはじまって100年を超えるようになった現在、そのアイデンティティや文化が失われつつあることが懸念されています。

そんな中、20代の若者を中心に「世界若者ウチナーンチュ連合会」が結成され、世界中の若いウチナーンチュたちのネットワーク形成が始まりました。沖縄の次代を担う若者たちのこの自発的な取組みを支援したいと考える方たちから、基金の設置提案と寄付をいただき、この度、「世界若者ウチナーンチュ大会支援基金」を設置する運びとなりました。



世界若者ウチナーンチュ大会支援基金

助成先: 世界若者ウチナーンチュ連合会沖縄本部

専用口座

沖縄銀行 鳥掘支店 普通1387898  
琉球銀行 首里支店 普通580429

郵便振替

01780-6-149204  
【通信欄への必要事項】若者ウチナーンチュ大会

## 寄付と助成のプログラム

NPOの寄付募集活動の支援プログラムです。NPOは取り組んでいる社会的課題を自ら社会にPRし、事業に必要な寄付を募ります。みらいファンド沖縄は、税制優遇制度を活用し寄付募集活動を支援します。

今日寝る場所のない子どもたちに一時休みながら考える場所

### わらび屋子どもの居場所基金

助成先: 長生楽

#### ■今居場所が必要な子どもに、提供するケータイを取りられない「Your home」

現在、家庭環境にシリアスな状況の子どもたちの滞在場所として、制度でケアされている保護施設やシェルター等の話題が増えてきました。現状の課題としては、課題を抱えている子がみずからその場所を選ぶには、安全な保護の観点から考えられている場所はハードルが高くどうしても敬遠されがちです。今回は、家庭にいづらさを抱えながらも、今日寝る場所のない子どもたちに、一時休みながら考える場所を与えるというコンセプトの居場所を開拓したいというプロジェクトです。

私自身も受刑者であり、出所後に、再起するのに地域社会からの軽蔑や妨げを受けて苦労してきました。また、19歳の時から事業を立ち上げ今までに多業種にわたり経営を行ってきました。そこで培った経験や知識、又組織を活用し施設の運営ができないかと考え、こういう子どもたちが私のような境遇にならないために、このプロジェクトに取り組みます。

わらび屋子どもの居場所基金

助成先: 長生楽

専用口座

沖縄銀行 鳥掘支店 普通1429191

郵便振替

01780-6-149204  
【通信欄への必要事項】わらび屋子どもの居場所基金

## 寄付と助成のプログラム

NPOの寄付募集活動の支援プログラムです。NPOは取り組んでいる社会的課題を自ら社会にPRし、事業に必要な寄付を募ります。みらいファンド沖縄は、税制優遇制度を活用し寄付募集活動を支援します。

治療にまつわるさまざまな悩みを相談できる場が求められています

### 乳がん患者が「元気に乳がんと闘う」ための環境づくりプロジェクト

助成先：NPO乳がん患者の会びんく・ぱんさあ [https://miraifund.org/kikin/breast\\_cancer/](https://miraifund.org/kikin/breast_cancer/)

#### ■治療にまつわるさまざまな悩みを相談できる場が求められています

浦添市に開設している「びんく・ぱんさあ リボンズハウス」は、沖縄県内すべての乳がん患者のためのピアサポートサロンです。患者同士が治療法などについて情報交換をしたり、抗がん剤の副作用との付き合い方や再発防止のための講座を受けることができるこのサロンに、毎年数百名の女性が訪れています。医療機関とは違った角度からのサポートが受けられるこのサロンの魅力は、ここに行けばいつでも体験者の声が聞ける「心の拠りどころ」であること。患者同士が集まることで、「仲間がいる心強さ」「乳がんと闘う前向きな気持ち」が持てると喜ばれています。さらに、乳がんに関する認知を高める活動も行っており、特に、検診の大切さを知ってもらい、それによる早期発見を促していくたいそうです。このサロンの運営継続のため、びんく・ぱんさあでは支援を求めています。乳がん治療は長期間となるため、患者がいつでも安心して相談に訪れることが可能となる場所が求められています。全ての女性が元気に乳がんと闘うことをサポートするこの事業を、どうぞご支援ください。



### 乳がん患者が「元気に乳がんと闘う」ための環境づくりプロジェクト

助成先：NPO乳がん患者の会びんく・ぱんさあ

専用口座

沖縄銀行 烏掘支店  
普通1394699

郵便振替

01780-6-149204

【通信欄への必要事項】

乳がん患者が「元気に乳がんと闘う」ための環境づくりプロジェクト(7)

音楽経験の場を通して協調性や忍耐力を育む

### ジュニアジャズオーケストラによる子どもの居場所づくり

助成先：琉球フィルハーモニック <https://miraifund.org/kikin/ryukyuphil-2-2/>

#### ■ジュニアジャズオーケストラとは？

若狭公民館区・那覇中学校区の小学生を対象にプロのジャズ音楽家によるコンサート＆ワークショップを開催し、子どもたちが気軽に楽器に触れる機会を創出する場です。参加費は無料で、定期的な練習会とその発表会を開催し、音楽的経験を通して視野や人との関係性を広げ、自分自身の未来の可能性に一步踏み出せる機会にします。各楽器の指導カリキュラムや、音楽カルタ、リズム遊びなど子どもたちが楽しみながら、演奏以外の音楽の基礎を学べるカリキュラムを作成します。また、フェロー（大学生ボランティア）を集め、プロのジャズ音楽家と連携しながら子どもたちの指導にあたります。



### ジュニアジャズオーケストラによる子どもの居場所づくり

助成先：琉球フィルハーモニック

専用口座

琉球銀行 首里支店  
普通602297

郵便振替

01780-6-149204

【通信欄への必要事項】

ジュニアジャズオーケストラによる子どもの居場所づくり

経済的理由に左右されずに将来の夢を実現できるよう応援する

### 子どもの「暮らし」と「働く」を応援する・シェアハウス

助成先：特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい <https://miraifund.org/kikin/sharehouse/>

#### ■沖縄の子どもの貧困率は29.9%と全国平均の2倍の数値です。

「沖縄県子どもの貧困対策に関する検討会資料」にある沖縄県の様々なデータをみると、離婚率や出生率を始めとする多くの割合が全国的に比較しても厳しい状況が見て取れます。特に子ども・若者に関するデータではそのまま放置してしまうと子どもの貧困に直結してしまうことが想定されます。子どもは様々な困難を抱えています。特に深刻なのが自立の問題です。経済的に厳しい家庭の子どもは、自立するための資金の捻出が困難です。高校に通いながらアルバイトをしても家の生活費に吸収されたり、通学するための費用にあてている子どももいます。シェアハウス事業は、それらの子どもたちが経済的理由に左右されずに将来の夢を実現できるよう応援する事業です。基金で集めたお金はシェアハウスの運営や子どもたちが自立するための資金にあてたいと思います。



### 子どもの「暮らし」と「働く」を応援する・シェアハウス

特定非営利活動法人 沖縄青少年自立援助センターちゅらゆい

専用口座

沖縄銀行 烏掘支店  
普通1433744

郵便振替

01780-6-149204

【通信欄への必要事項】

子どもの「暮らし」と「働く」を応援する・シェアハウス

WEBよりクレジットカードからも寄付できます。

## 寄付のお申込み方法

### 1 お申込み手続き

ご寄付にあたって、「寄付先を指定したい」「領収書や寄付先からの情報を希望する場合」などは、寄付の申込みをお願いします。

WEBでのお申込み <http://miraifund.org/contactus.php> 寄付申込書のダウンロードも可能です

#### お申込み手続きの注意事項

- ・領収書や事業報告をご希望の方は必ず住所をご記入ください。
- ・個人の方は税制優遇を受けるための領収書に記載する必要があるため住民票所在地の住所を必ずご記入ください。
- ・寄付指定先から情報を希望される場合は、申込で記入いただいた個人情報を指定先の団体に提供いたしますので、予め同意の上でお申込みください。
- ・インターネット上からお申し込みの場合、銀行振込口座、郵便振替口座、現金書留郵送先が申込完了後のページで表示されますので、ご確認いただき1週間以内を目処にご入金をお願いいたします。

### 2 寄付をする

#### 銀行振込

- ・各事業の紹介に掲載されています口座をよくご確認の上、ご入金ください。
- ・領収書がご入用の方は、必ず「みらいファンド基金」に寄付申込書をご提出ください。
- ・振込手数料は寄付者の負担となります。

#### 郵便振替

- ・通信欄に必ず寄付をしたい事業の事業名を記載してください。(各事業紹介ページをご確認ください)
- ・領収書がご入用の方は、お名前・ご住所・電話番号・メールアドレス(ない場合は不要)を必ず記載してください。
- ・ゆうちょダイレクトからご利用いただけません。ご利用いただく場合は、寄付申込書をお願いします。

#### クレジットカードで寄付

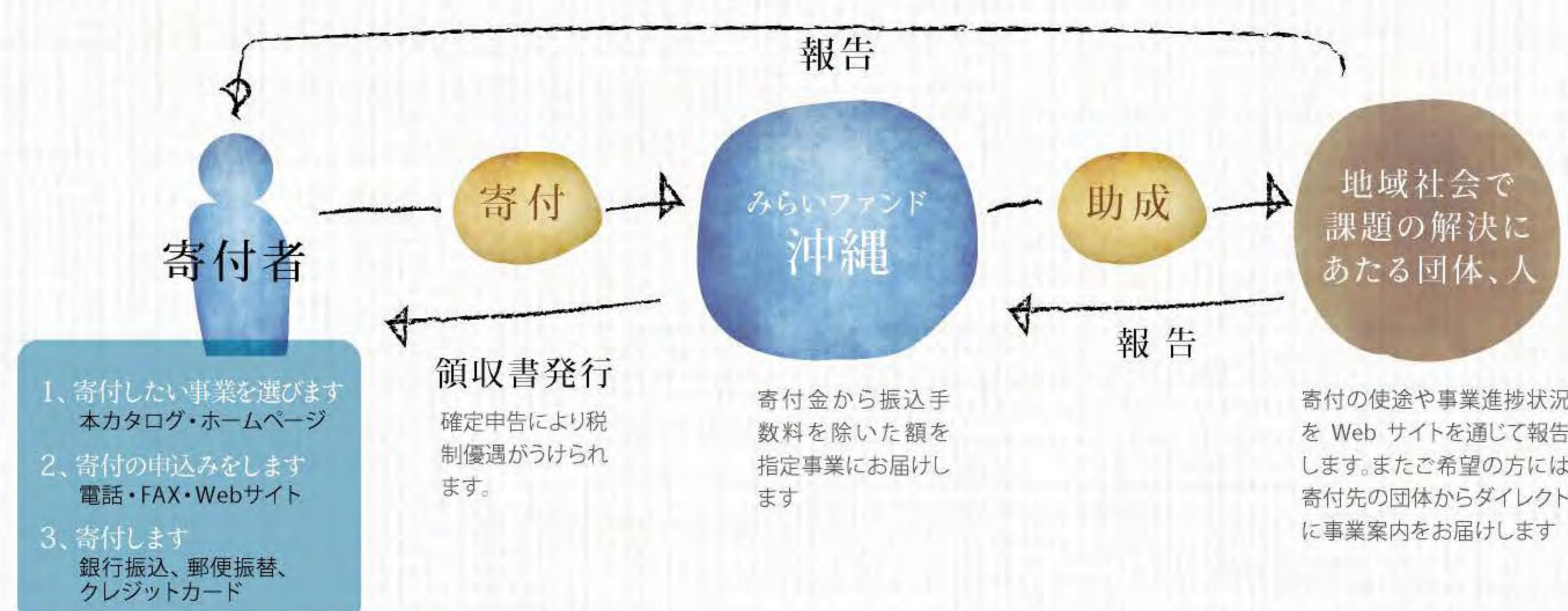
- ・WEBサイトより入金処理をお願いします。

### 3 領収書発行について

確定申告に間に合うよう、個人の寄付に対する領収書は、原則希望された方に対して、その年に当財団に実際に入金された寄付額をまとめて、翌年1月中旬の送付または寄付入金確認後、数週間以内の送付どちらかを選択できます。(領収書記載の住所及び発送先は寄付入金時点でご連絡頂いている住所となります)

- ・寄付金控除等の税制優遇を受ける場合は、確定申告時に当財団が発行する領収書を提出してください。
- ・法人・団体・相続財産の寄付に対する領収書については、その都度7営業日以内にお送りいたします。
- ・クレジットカードによる寄付のお申込み受付日から当財団に入金されるまで2~3ヶ月かかりますので、寄付金控除等で年内の日付で領収書を必要とする方は、お申込み時期にご注意ください。10月以降の決済の場合、領収書は翌年以降の日付になる可能性があります。

## 寄付プログラムの仕組み



# みらいファンド基金に寄付された際の「税制優遇」について

## 個人の方

新しい制度によって大きく変わりました

### 最大で寄付額の約5割を納税額から差し引くことが可能になりました

公益社団法人・公益財団法人・認定NPO法人といった、地域で活動する公益活動団体を後押しするため、個人の方の寄付税制が平成23年6月、大きく変わりました。所得税と住民税を合計すると、寄付した金額の約半分が、税金の額から差し引かれることになります。

#### 所得税

##### 《税額控除方式》

下記の金額が税額控除の対象になります。

**年間の寄付金額 - 2,000円 × 40%**

(所得税額の25%が上限)

##### 《所得控除方式》

下記の金額が所得より控除されます。

**年間の寄付金額 - 2,000円**

#### 住民税

##### 《沖縄県民》

下記の金額が住民税から差し引かれます。

**年間の寄付金額 - 2,000円 × 4%**

##### 《下記の市町村の住民》

下記の金額が住民税から差し引かれます。

**年間の寄付金額 - 2,000円 × 6%**

※詳しくは、お住いの市町村にお問い合わせください。

## 法人の方

公益社団法人・公益財団法人・認定NPO法人などへの寄付は

### 損金算入の特別枠が適用されます

#### 損金算入

##### 《一般損金算入限度額》

特別損金算入額も合わせた額まで適用されます。

**( 資本金額の 0.25% + 所得金額の 2.5% ) × 1/4**

##### 《特別損金算入限度額》

特別損金算入額も合わせた額まで適用されます。

**( 資本金額の 0.375% + 所得金額の 6.25% ) × 1/2**

## 相続税

### 寄付した遺産には相続税がかかりません

相続または遺産により取得した財産の一部または全部を、公益社団法人・公益財団法人・認定NPO法人に寄付した場合、一定の要件を満たせば、寄付した財産には相続税が課税されません。

詳しくは、税務署へお問い合わせください。また、税理士へのご相談ご相談もおすすめします。

相続税の申告期限までの寄付が対象となります。

いずれの税制優遇も、上限額の計算等があります。

詳しくは、みらいファンド沖縄までお問い合わせいただくか、  
お近くの税務署や税理士にご相談ください。



## あなたの基金が作れます



### 行き先を作れる基金

みらいファンド沖縄では寄付者の想いをかたちにするために、寄付金の使い道に対し条件を決めることができる基金(じぶん基金：じぶんききん)をはじめました。この基金は、寄付者の課題意識に応える「活動支援」や「こんな人たちのためにお金を使いたい」など想いを実現させることができます。

### あなたの名前の入った基金が作れます

紹介した寄付先とは別に、自分の想いに名前を付けて、独自で基金を作ることができます。基金はいくらからでも作ることができ、事務手続きや選考など、みらいファンド沖縄が行っています。

### ご相談ください。あなたの沖縄への想いに応えます

基金の支援先はみらいファンド沖縄と打ち合わせを重ね決定を行います。短期間、長期間の支援、新規の事業の応援を行いたいなどお希望にお応えできるよう柔軟に対応いたします。

### 宮里大八国際交流基金

沖縄では得られないアジアでの体験・冒険へ  
宮里大八国際交流基金では高校生や中学生に世界を感じてもらう機会を提供することが重要であるという課題意識から、沖縄の中高生に対し、一度世界に飛び出し、世界にいる同世代の子ども達と出逢うための旅費・滞在費を助成します。現地では、PBL (Problem Based Learning, Project Based Learning ; 問題解決型学習、課題解決型学習) を現地の学生とともに学んでもらいます。今回のプロジェクトでは、選ばれた中高生の方々に英語によるコミュニケーションを高めてもらうため、英語教材のスピーカナチュラルを提供、英語教材で英語のトレーニングをしてもらった後、フィリピン、インドネシアのいずれかで海外での体験・冒險をしています。



宮里 大八さん  
琉球大学 産学官連携  
推進機構 特命准教授

専用口座 沖縄銀行 鳥居支店 普通1404143



故 新崎 盛暉先生  
新崎盛暉平和活動  
奨励基金運営委員会

### 新崎盛暉平和活動奨励基金

平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動への助成  
沖縄の歴史を踏まえ、沖縄の平和と人権を守り、沖縄を世界の平和の拠点とする市民の創造的実践活動、研究活動を助成することを目的として、この基金は新崎盛暉先生とその支援者によって設置されました。2018年3月31日、先生が逝去されました。私ども基金運営委員会は、改めて当基金の継続を決定、遺族の方々にも了解いただきました。

先生の、「民衆の力」を信じそれを支援し続けることに尽力された遺志を受け継ぎ、次世代の平和活動に助成することで、できるだけ長く先生の想いをつないでいく原資になればと切に願います。

### 新崎盛暉平和活動奨励基金運営委員会

高嶺朝一 長元朝浩 三宅俊司 松田寛 浦崎成子 城間勝  
親川裕子 我部聖

専用口座 沖縄銀行 鳥居支店 普通1422770

### 遺贈基金

みらいファンドは遺贈寄付のお手伝いをします。

### 遺贈寄付とは

個人が死亡した時に、遺言によって財産の全部または一部を法定相続人または法定相続人以外の人(自然人または法人)に無償で譲渡(贈与)することを「遺贈」といいます。  
世界的に先進国が高齢化する中で、諸外国でも遺贈寄付の役割が改めて注目されています。少子高齢化社会において、すべての社会課題の解決を税金と行政だけで担うことが困難になってきていました。そうした中で、自分らしい人生の集大成の在り方を叶え、次世代のために、遺贈寄付を通じて社会への「恩返し」をしようとする人たちが少しづつ増えてきているというのが日本においても見られます。

### あなたの想いを未来へつなげるために

当財団でも、皆様の遺産の新たな選択肢として、専門家の方々との連携や遺贈に関する全国組織「レガシーギフト協会」にも加入し、遺贈寄付に興味のある方々への情報提供を実現していきます。

### いざなぎの窓口

工房でいい報  
作紅型書  
らはに使  
まこ使  
しち用  
たらさ  
れた、



〒903-0824 沖縄県那覇市首里池端町34 2F  
営業時間 9:00-18:00(土日祝を除く)

tel: 098-884-1123 fax: 098-882-2400

e-mail: office@miraifund.org

発行 2018年12月

web: [みらいファンド沖縄](#) 検索

### 紅型素材ご協力いただいた工房



#### 城紅型染工房(ぐすくびんがた)

創業45年を迎える紅型工房です。  
紅型の伝統を守りながら新しさを+プラス!  
日々の暮らしの中に彩りを添える  
アイテム・デザインを制作・発信しております。

沖縄県浦添市前田4-9-1  
TEL 098-887-3414  
営業時間 10:00~18:00(日曜定休)

## 財団運営の為のご寄付を募集しております

### みらいファンド沖縄への寄付口座

銀行名 沖縄銀行 首里支店 普通口座 1408641

名 義 公益財団法人 みらいファンド沖縄 代表理事 小阪亘 (コウエキザイダンホウジン ミライファンドオキナワ ダイヒヨウリジ コサカワタル)

郵便振替 01780-6-149204

名 義 公益財団法人 みらいファンド沖縄 (コウエキザイダンホウジン ミライファンドオキナワ)  
【通信欄への必要事項】みらいファンド沖縄を支援する